

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が3例(10歳代男性, 50歳代及び70歳代女性各1例)ありました。いずれも感染地域は国内です。本年の累積報告数は37例となりました。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- デング熱の報告が1例(50歳代女性)あり、症状は2日以上続く発熱、頭痛、血小板減少、白血球減少です。感染地域は国外(カンボジア)で、感染経路は蚊です。本年の累積報告数は7例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(90歳代男性)あり、症状はショック、肺炎、菌血症、多臓器不全、全身痛です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は9例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(90歳代女性)ありました。症状は発熱、肺炎、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染。本年の累積報告数は52例となりました。

京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.33(57例)となり、前週0.56(24例)から2倍以上増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 5例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 206例(肺結核 91例, その他結核51例, 潜在性結核感染者 64例)うち喀痰塗抹陽性 44例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 37例】
- 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 52例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.09	6
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.19	94
	② RSウイルス感染症	1.33	57
	③ 伝染性紅斑	1.19	51
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	48
	⑤ 手足口病	1.09	47
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

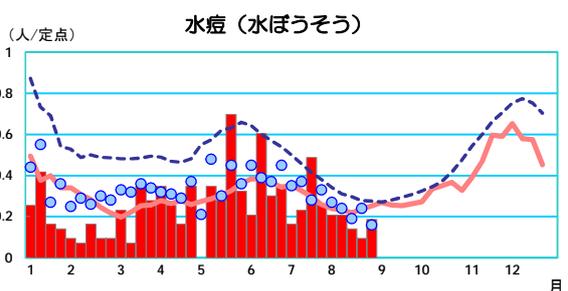
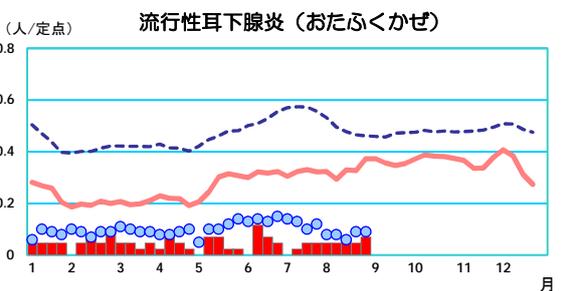
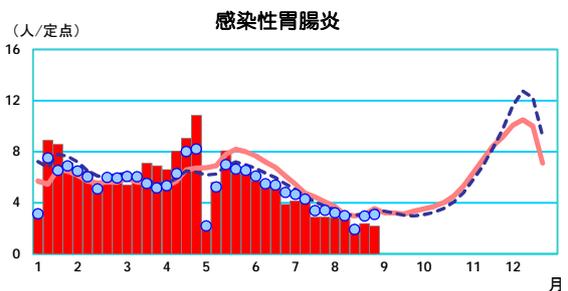
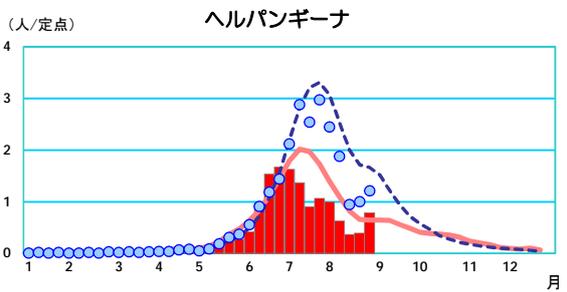
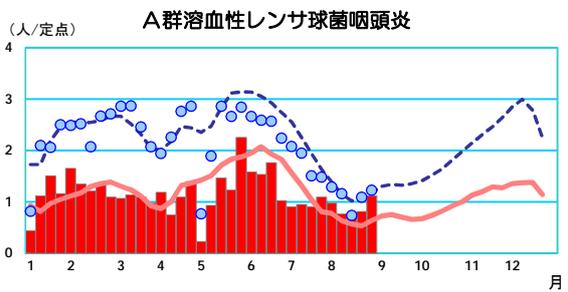
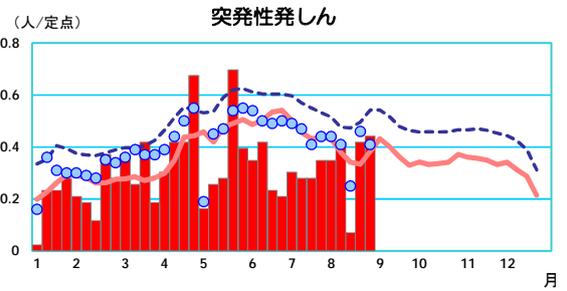
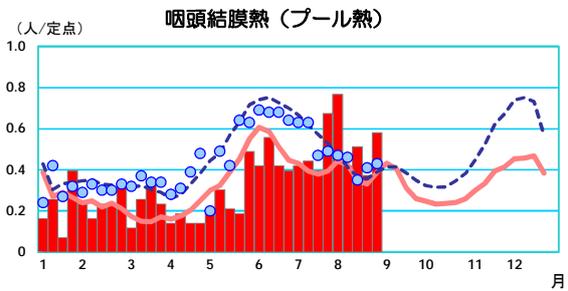
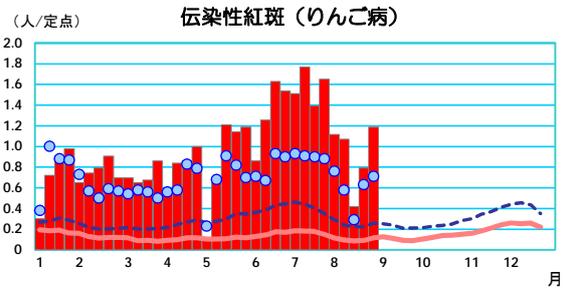
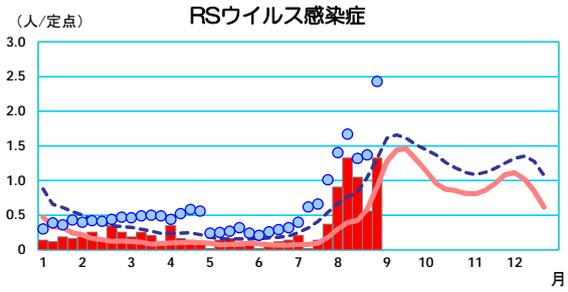
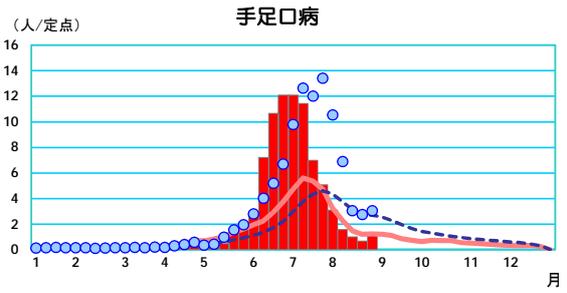
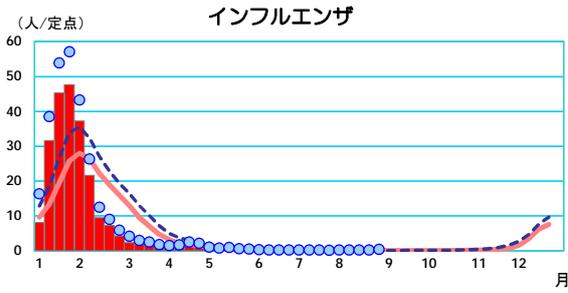
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、2019年9月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



## 第35週(8月26日～9月1日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.33(57例)となり、前週0.56(24例)から2倍以上増加しました。全国の定点当たり報告数は2.43となり、前週の1.37から大幅に増加しています(図1)。

RSウイルス感染症は、年齢を問わず再感染を起こしやすく生涯にわたって感染を繰り返します。多くの場合軽い症状で済みますが、生後数週間～数ヶ月の乳幼児、特に早産児や心臓・肺に疾患のある乳幼児は、細気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

京都市の年齢階級別定点当たり報告数の割合を見ると、生後5ヶ月以下の乳幼児が2割前後で推移しています(図2)。わが国の月別出生数の季節変動を見るために、1日当たりの平均出生数を政府統計e-Satの2009年～2019年4月のデータを用いて月別にプロットしたところ、7月～9月の一峰性ピークが観察されます(図3)。つまり、現在重症化することのある乳幼児が多い時期であることが推測されます。RSウイルス感染症にはワクチンや特效薬がなく、予防が重要です。身近に乳幼児のいる方は特に注意しましょう。

感染経路は飛沫感染と接触感染です。咳などの症状のある大人はマスクを着用し、飛沫による感染を防ぎましょう。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するほか、流水及び石けんによる手洗いで接触による感染を予防しましょう。

図1 令和元年京都市および全国の定点当たり報告数

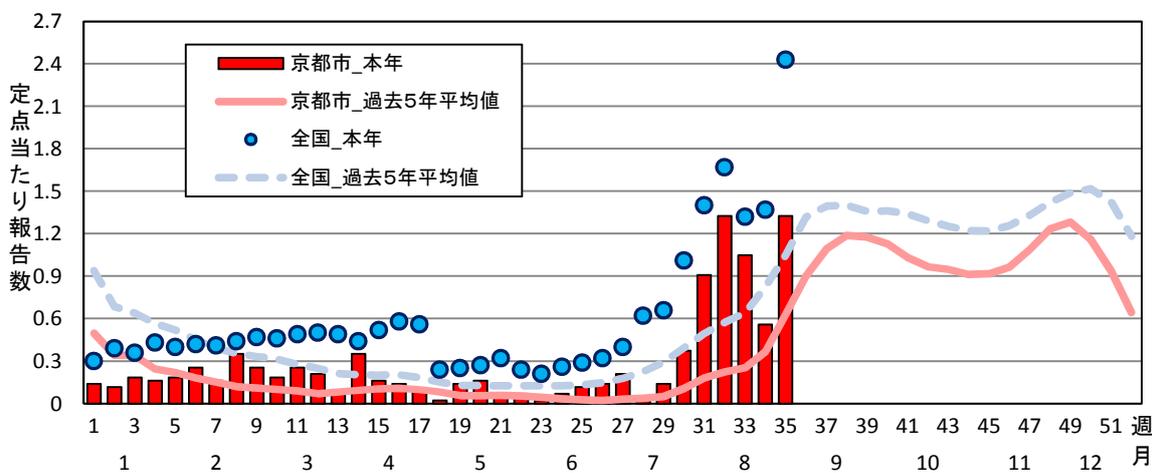


図2 年齢階級別定点当たり報告数の割合の推移

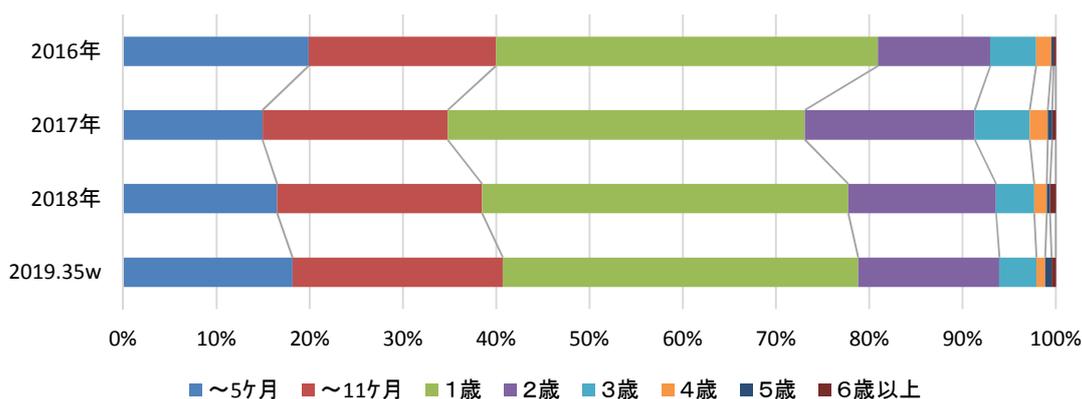
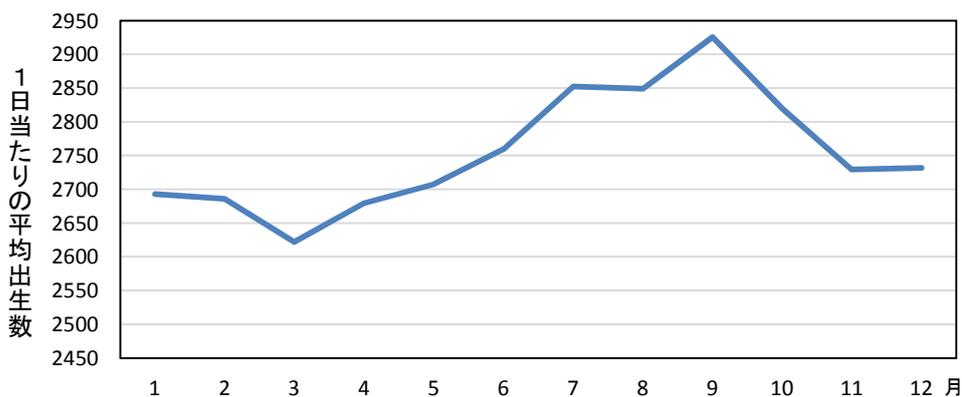


図3 わが国の2009年1月～2019年4月の月別出生数の変動



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第35週

疾病,行政区別報告数

2019年8月26日～2019年9月1日

データ入手日:2019年9月4日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	1	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	3						
上京	-	-	-	2	1	1	1	-	1	4	-	-	1						
左京	1	16	-	2	4	-	11	12	2	1	1	-	-						
中京	-	4	1	1	3	-	1	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	5	-	1	17	-	-	-	-	-	-	-							
山科	1	7	1	4	-	-	1	1	1	-	-	-	1						
下京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-								
南	1	3	-	2	7	2	6	2	-	9	-								
右京	-	4	7	25	8	4	2	3	2	1	-	-	-						
伏見	-	13	13	10	31	-	7	25	10	10	-	-	1						
西京	-	3	2	1	19	1	18	4	3	5	2	-	-						
京都市計	6	57	25	48	94	8	47	51	19	34	3	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	0.14	0.50	0.25	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	3.00						
上京	-	-	-	0.67	0.33	0.33	0.33	-	0.33	1.33	-	-	1.00						
左京	0.14	4.00	-	0.50	1.00	-	2.75	3.00	0.50	0.25	0.25	-	-						
中京	-	1.33	0.33	0.33	1.00	-	0.33	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	2.50	-	0.50	8.50	-	-	-	-	-	-	-							
山科	0.14	1.40	0.20	0.80	-	-	0.20	0.20	0.20	-	-	-	1.00						
下京	-	-	-	-	1.50	-	-	-	-	0.50	-								
南	0.20	1.00	-	0.67	2.33	0.67	2.00	0.67	-	3.00	-								
右京	-	0.80	1.40	5.00	1.60	0.80	0.40	0.60	0.40	0.20	-	-	-						
伏見	-	1.86	1.86	1.43	4.43	-	1.00	3.57	1.43	1.43	-	-	0.50						
西京	-	0.60	0.40	0.20	3.80	0.20	3.60	0.80	0.60	1.00	0.40	-	-						
京都市計	0.09	1.33	0.58	1.12	2.19	0.19	1.09	1.19	0.44	0.79	0.07	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年8月26日～2019年9月1日

データ入手日:2019年9月4日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症		57	5	9	29	11	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		25	-	1	6	2	4	5	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	-	-	1	6	11	8	9	5	3	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		94	1	8	20	14	6	8	4	4	4	1	4	12	3	5	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	8	-	1	-	-	-	-	2	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		47	-	2	13	9	11	3	3	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		51	-	2	5	4	5	8	12	6	3	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	-	4	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		34	-	5	10	6	8	1	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.09	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	0.01	-	0.03	0.01	-	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症		1.33	0.12	0.21	0.67	0.26	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.58	-	0.02	0.14	0.05	0.09	0.12	0.09	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.12	-	-	0.02	0.14	0.26	0.19	0.21	0.12	0.07	0.02	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.19	0.02	0.19	0.47	0.33	0.14	0.19	0.09	0.09	0.09	0.02	0.09	0.28	0.07	0.12	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.19	-	0.02	-	-	-	-	0.05	0.07	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.09	-	0.05	0.30	0.21	0.26	0.07	0.07	0.05	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1.19	-	0.05	0.12	0.09	0.12	0.19	0.28	0.14	0.07	0.07	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.44	-	0.09	0.26	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.79	-	0.12	0.23	0.14	0.19	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	0.10	0.10	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年9月4日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	8	12	10	10	5	6
RSウイルス感染症	16	39	58	45	24	57
咽頭結膜熱	29	33	25	22	16	25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	42	37	31	35	48
感染性胃腸炎	124	122	135	73	102	94
水痘	11	9	9	6	4	8
手足口病	218	133	79	43	29	47
伝染性紅斑	71	48	49	18	34	51
突発性発しん	15	15	21	3	18	19
ヘルパンギーナ	46	43	29	16	17	34
流行性耳下腺炎	2	2	2	2	2	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	7	3	-	7	6
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	593	505	457	269	293	398

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.12	0.17	0.14	0.14	0.07	0.09
RSウイルス感染症	0.37	0.91	1.35	1.05	0.56	1.33
咽頭結膜熱	0.67	0.77	0.58	0.51	0.37	0.58
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	0.98	0.86	0.72	0.81	1.12
感染性胃腸炎	2.88	2.84	3.14	1.70	2.37	2.19
水痘	0.26	0.21	0.21	0.14	0.09	0.19
手足口病	5.07	3.09	1.84	1.00	0.67	1.09
伝染性紅斑	1.65	1.12	1.14	0.42	0.79	1.19
突発性発しん	0.35	0.35	0.49	0.07	0.42	0.44
ヘルパンギーナ	1.07	1.00	0.67	0.37	0.40	0.79
流行性耳下腺炎	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.70	0.30	-	0.70	0.60
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	14.18	12.18	10.77	6.17	7.31	9.66

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。